



徳川家康公  
ゆかりの名所と  
新居宿めぐり

湖西市

湖西市

〒431-0492 静岡県湖西市吉美3268  
Tel.053-576-1230



徳川家康公ゆかりの名所



**本興寺**  
法華宗陣門流の本山であり、戦国時代には今川方の武将であった鶴殿氏により保護されました。また、家康の側室であった西郡局は本興寺第十世である日梅の姉であり、境内臺地には今も西郡局の廟所が存在しています。境内には室町時代に建立され、国の重要文化財に指定されている本堂や、小堀遠州作と伝わる庭園があります。



**境目城(妙立寺)**  
家康による遠江侵攻への防備として、今川氏真は永禄10年(1567)に妙立寺を接收し、寺域に境目城の建設を行いました。永禄11年(1568)の酒井忠次の攻撃で落城しました。その後、宇津山城攻めの際に、妙立寺の梵鐘を合図に城攻めを行い勝利したので、家康はこの梵鐘を「吉兆の鐘」と呼び浜松へ持ち帰ろうとしたという伝承が残っています。また、妙立寺は後には家康の祈願所にも指定されました。



**宇津山城跡(正太寺)**  
浜名湖に突き出た半島状の土地の山上に築かれた山城です。今川方にとって、この地は遠江と三河の国境に位置しており、家康の遠江侵攻を食い止めるうえで重要な防衛地点でした。しかし、永禄11年(1568)の酒井忠次の攻撃により、あえなく落城しました。その後は徳川方の城として利用されましたが、家康の遠江平定後は重要性が失われ、廃城を迎えることとなります。



**潮見坂**  
東海道屈指の景勝地として、数々の紀行文などにその風景が記されており、また、ここを通った人々が潮見坂の美しい風景を詠んだすぐれた歌を数多く残しています。織田信長が武田勝頼を滅ぼして尾張に戻る際に、家康が茶亭を新築し、信長をもてなした場所でもあります。



**池田神社**  
天正12年(1584)4月、小牧・長久手の戦いで永井伝八郎に討ち取られた豊臣秀吉方の武将、池田信輝の首が伝八郎によって家康のいる浜松城へ首実検のために運ばれたとき新居を通りました。その帰途に首を葬ったとされる場所が池田神社です。元々は現在地より西の柏原付近に位置していましたが、宝永4年(1707)の地震により、現在地へと移転しました。

浜松市

べんてんじま

ブリ丸

今切体験の里

海釣公園

浜名大橋

新居分天I.C

遠州灘

はたごきのくにや  
旅籠紀伊国屋資料館【市指定文化財】

紀伊国屋は江戸時代から昭和にかけて営業していた旅籠（食事を提供する宿）です。元禄16年（1703）の時点で徳川御三家の一つ、



紀州藩の御用宿となっており、正徳6年（1716）には「紀伊国屋」の屋号を掲げました。江戸時代後期には20数件の旅籠が新居宿にありましたが、その中でも最大級の規模を誇りました。現在の建物は明治時代初めに再建されたものですが、随所に江戸時代の建築様式を残しており、湖西市の文化財に指定されています。平成13年（2001）に解体修理を行い、現在は宿場文化を伝える資料館として公開しています。

〒 湖西市新居町新居1280-1  
☎ 053-594-3615（新居関所史料館と共通）  
営 9:00～16:30  
休 月曜日及び年末年始（8月は無休）  
料 大人210円、小人100円 ※新居関所史料館との共通入館券有

こまつろう  
小松楼まちづくり交流館【国登録有形文化財】

新居では大正時代以降、関所の南側に飲食街が広がり、多い時で60人から80人の芸者がいたと言われています。小松楼は大正から明治20年代頃まで芸者置屋及び小料理屋を営んでいました。建物は明治末期以前のもを現在の地へ移築し、その後数回の増改築を行っています。独特の間取りや弁柄色の壁など当時の面影を残しており、国の登録有形文化財となっています。現在は小松楼まちづくり交流館と改め、イベントや展示等を通じて地域の魅力を発信する拠点となっています。



〒 湖西市新居町新居1190-3  
☎ 053-594-0540  
営 9:00～17:00  
休 月曜及び年末年始

秋葉信仰の常夜燈



浜松市天竜区の秋葉山は、火防の神として江戸時代以降広く信仰を集めました。秋葉山に通じる街道沿いや宿場町には、火防の効力を期待して秋葉燈籠が多く建てられ、明かりが灯されました。新居宿内にも、江戸時代後期から昭和にかけての秋葉燈籠が複数存在しています。

湖西市  
新居宿  
散策図絵

湖西市の徳川家康公ゆかりの名所と  
古民家レストランを、みんなで巡ろう！

湖西市は、数多くの歴史スポットがあります。また、古民家を改装して新たに飲食店としてオープンしたお店も魅力的です。趣たっぷりの古民家レストランや歴史スポットをみんなで巡りませんか？



古民家バル おりはな  
の位置は裏面へ



あらいのせきあと  
新居関跡【国指定特別史跡】

新居関所は、慶長5年（1600）に家康によって設置されました。江戸時代には「今切関所」と呼ばれており、当初は現在地よりも東の今切口（遠州灘の開口部）にありました。その後、元禄12年（1699）の暴風雨と高潮、宝永4年（1707）の地震と津波といった、度重なる災害により2度の移転を余儀なくされ、宝永5年（1708）に現在地へと引越しました。新居関所は江戸の防衛を目的として設置され、江戸に持ち込まれる鉄砲と女性の通行を特に厳しく取り締まっていた。新居関所は、江戸時代の関所の建物が全国で唯一現存しており、国の特別史跡に指定されています。



大元屋敷跡

中屋敷跡

〒 湖西市新居町新居1227-5  
☎ 053-594-3615  
営 9:00～16:30  
休 月曜日及び年末年始（8月は無休）  
料 大人400円、小人150円  
※紀伊国屋資料館との共通入館券有

新居名物 すわま



すわまは、米粉、黒糖、砂糖、醤油、食塩などを混ぜて作られた昔ながらの素朴な餅菓子。新居町では大きめの小判型で、表面には2本のみそが入り波型に見えることが特徴。文化庁の100年フードにも認定されています。

詳しくはこちら



歴史のおもむきたっぷり  
古民家を改装した  
飲食店めぐり

カフェロンボン



新居関所前に位置するカフェロンボン。野菜をたっぷり使ったランチや自家製シロップを使用したドリンクのほか、デザート、焼き菓子など、地元湖西産の野菜や果物を活かしたカジュアルフレンチのお店です。

〒 湖西市新居町新居1261  
☎ 053-594-0650  
営 11:00～17:00  
休 火曜日、水曜日



RIVET「リベット」



新居関所の大通りの1本裏に入ったところにひっそりと佇むRIVET。オムライスや三ヶ日牛ハンバーグ、パスタなどが味わえます。ランチにつく前菜は、キッシュやマリネなど彩り豊かでボリューム満点です。

〒 湖西市新居町新居1209  
☎ 053-594-6608  
営 11:30～15:00、  
17:30～22:00  
休 月曜日・火曜日



古民家バル おりはな



宿場とはほんの少し離れた場所に位置する古民家バルおりはな。地元食材を使った料理と一緒に日本酒やワイン、カクテルを楽しむことができます。週末夜のみ営業で、ゆっくり過ごしたい大人のためのお店です。

〒 湖西市新居町浜名1060  
☎ 053-522-7675  
営 17:30～22:30  
休 月曜日、火曜日、水曜日、  
木曜日、日曜日

